

2面	市立小学校入学に関する各種の制度や手続きについて
3面	わがまち学校たんけん隊!
4面	「宮沢賢治 イーハトーヴの鳥たち」展

まちだの教育

2015年
6月21日
No. 94



発行:町田市教育委員会 編集:学校教育部 教育総務課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 MACHIDA TEL 042・722・3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

5月14日 「町田市学力向上推進フォーラム」を開催しました!

教育委員会では、2年前から学力向上推進委員会を設置し、子どもたちの学力向上に向けて研究・検討を行ってきました。この度、「町田市学力向上推進プラン」を策定し、全小・中学校で推進していくこととしました。プランでは、子どもたちが、「できる学力」(=基礎的・基本的学力)と「わかる学力」(=思考力・判断力・表現力)をバランスよく身に付けることを目的とし、学力向上策の「柱」として協同的探究学習を掲げています。



▲教職員、保護者、地域の方など約800名が参加しました。

問い合わせ 指導課 ☎724・2867

「協同的探究」は「わかる学力」を伸ばすための考え方なんだ! この考え方を取り入れた授業では、多様な考えを認め合い、みんなで話し合うことで、自分の中でよりよい考えを創り出していこう。



学力向上イメージキャラクター「のびるくん」
(作・図師小学校 池山雅子教諭)

実践報告を行った学校 (7校)
町田第六小学校・南第一小学校・
小山ヶ丘小学校・相原小学校・
町田第一中学校・町田第二中学校・堺中学校

1 学力向上に向けた取組の実践報告

これまで2年間、学力向上に向けた取組を研究・推進してきた市立小・中学校7校による実践報告が行われました。このうち南第一小学校は、学力向上推進パイロット校として国語の協同的探究学習に取り組んでおり、山本美紀主幹教諭らが、「モチモチの木」(斎藤隆介作)を題材とした模擬授業を行いました。

STEP1 導入問題をまずは1人で考えよう!

「豆太は臆病なのか」という課題を3DKノートの「K」に、自分の意見を3DKノートの「①」と短冊に書いてみましょう。

「3DKノート」って何?
南第一小学校で使用しているオリジナルのノートです。ノートの見開きで、課題(「K」 adai)、①自分の考え、②友達の考え、③まとめ(「3」)、展開問題(「D」 rill)を書き込めるよ!

③ まとめ	① 自分の考え	K 課題
D 展開問題	② 友達の考え	

導入問題は、8割以上の子どもが取り組むことができ、教材の面白さにせまった問題であることが大切です。

STEP2 少人数グループで話し合おう!

少人数で話し合い、気付いたことを3DKノートの②にメモします。

少人数で話すことで、自信をもって全体に意見を発表できるようにすることがねらいです。

STEP3 自分の考えを発表しよう!

自分の意見を書いた短冊を持って、黒板の前に集まり、意見を発表して、黒板に短冊を貼ります。

豆太は臆病ではないと思います。

豆太はじさまが大好きだから勇気を出せたと思います。

出された意見はどんなものでも否定しないことで、気持ちよく子どもたちが意見を出すことができます。

STEP4 考えの相違点や共通点を話し合おう!

短冊に書かれた意見の違いや共通点を整理して、関係性を図解していきます。

A意見の短冊の位置は、B意見にもっと近いほうがいいです。

C意見とD意見は「臆病ではない」グループだね。

出された意見の関係性をわかりやすく見えるようにし、自分の考えを深めていきます。

STEP5 自分の考えをもう1度書こう!

話し合いの内容を踏まえて、自分の考えを3DKノートの③に書きます。

この過程により50字程度の意見しか書けなかった子どもが200字ぐらいの文章を書けるようになります。

協同的探究学習を実践した学校では…

テストの無解答が減ったよ!

クラスの雰囲気よくなってきたんだ!

全国学力テストの応用問題の結果が上がった!

みんなの前で自信をもって発表できる子どもが増えたよ!

2 パネルディスカッション テーマ『学力向上と協同的探究学習』

これからの時代を生きる子どもは、課題に対し1つの答えを出すだけではなく、自分で知識をつなげて探究する力、みんなの意見をつなげて創り上げていく力が必要。その力を育むための考え方が協同的探究学習です。
東京大学大学院 藤村宣之教授(町田市学力向上推進委員会顧問)

2年間、協同的探究学習を取り入れた授業を研究する中で、南第一小学校オリジナルの短冊や3DKノートを使う授業方法などが生まれてきました。みんなでイメージを共有でき、子どもも先生もワクワクする授業を行えるようになりました。
南第一小学校 山本美紀主幹教諭(学力向上推進パイロット校主幹教諭)

家庭でも、親として子どもと接する際には、「どうして?」と子どもの意見を聞き、認めてあげることを心がけていきたいと思えます。
参加した保護者の声

協同的探究学習というと、難しそうに聞こえますが、本当はどの学校でも既に行っていること。ただ、市全体でその理念を共有し学力向上に向かって進んでいく、そのことが大きなうねりとなって新たな取組が生まれていく。それが大事だと思います。
七国山小学校 山本弘明校長(町田市学力向上推進委員会委員長)

子どもに本当に身に付けてもらいたい力を育むにはどうしたらよいか、校長として教員や保護者に、いろいろな機会に説明してきました。それが少しずつ定着し、成果が出ていることを実感しています。
南第一小学校 佐野友隆校長(学力向上推進パイロット校校長)

今後は、フォーラムで発表された内容に基づいて市立小・中学校全校で学力向上に向けた取組を実施していくよ!

学校でのいじめに関するご相談は ●いじめ110番: 724・2867
障がいがある児童・生徒の就学・進学に関するご相談は ●就学相談: 793・3057
子どもの教育上の問題に関するご相談は ●教育相談: 792・6546